

鍛練の汗

竜北中学校 学校だより

第6号
R7.9.24
文責 窪田 智久

竜中マーケット大盛況

9月13日(土)竜中マーケット(3年CSの日)を文化センターで開催しました。今回は、販売活動に挑戦しました。当日を迎えるまでにCS委員さんのアドバイスを受け、地元の実業所の方々に協力いただき、店名を自分たちで考えたり、宣伝用や値段を表示した看板やチラシを作成したりと準備を進めてきました。当日は、ご来場いただいた地域の方々や保護者の皆様を3年生の爽やかスマイルと明るい声でお迎えし大盛況のうちに終えることができました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



少年の主張県大会



8月30日(土)に熊本城ホールにおいて、中学生が日常生活の中で感じたことや考えたことを発表する「第47回少年の主張熊本大会」が行われました。熊本の応募があった中から、10人が参加しました。八代地区の代表として、3年生の中村悠聖さんが「ふるさと氷川への思い」というテーマで昨年度のCSの日の取組を通して学んだ、ふるさと氷川の宝やよさに対する思いを堂々と発表しました。内容の素晴らしさに加え、誠実な人柄が伝わる立派な発表でした。

全国学力・学習状況調査結果より

毎年4月に3年生を対象に行われる「全国学力・学習状況調査」(今回は、国語・数学・理科)の結果概要と今後の対策についてお知らせします。

なお、この調査は、学力のうち一部分を測定するものであり、生徒の学力全体を評価するものではありません。今回の結果では、国語・数学・理科ともに全国や県を下回るものとなりました。

詳細な分析を行い、特に以下の点について今後の対策が必要であることが分かりました。

○国語・数学は、平均正答率で表示

	本校	県	全国
国語	51.0	53.0	54.3
数学	43.0	44.0	48.3

	本校	県	全国
理科	116.1	122.7	124.0

※理科は、調査方法が異なるため、標準偏差で表示

【国語】考えを発表したり、書いたりする際の根拠を意識
【数学】基礎的な内容の定着を図るとともに証明・図形の問題等では問題や図形に描き込む
【理科】単なる知識としてではなく本質的な理解へとつながる授業や問題の工夫

【生徒質問紙から】

肯定的な回答が、全国平均と比較して5p以上回った項目は、
○「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思いますか」(↑10.4)
○「将来の夢や目標を持つていますか」(↑10.1)

○「地域の大人に授業や勉強、体験活動、スポーツ等に関わってもらいたいと思いますか」(↑9.8)

○「授業で学んだことを次の学習や実生活に結びつけたり生かしたりできると思いますか」(↑6.9)

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていてと思いますか」(↑5.8)

地域貢献「梨マラソン大会」ボランティア



9月23日(火)は、竜北地区がコースとなる「氷川町梨マラソン大会」が開催されました。本校の生徒約30人が自ら名乗りを上げ、ボランティアスタッフとして大会運営に携わり地域に貢献しました。参加賞配付や給水係を中心に参加者へ「竜中スマイル」でエールを送りました。参加者の皆様から本校の生徒にたくさんの温かい言葉をいただきました。

猛暑、自然災害

猛暑に加え、8月11日未明からの記録的な豪雨で氷川町において甚大な被害が発生した大変な夏でした。1日も早く回復してほしいと願います。

竜北グラウンドの駐車場は被災廃棄物が置かれていましたが、8月の休日に2年生の宮村真成さんが暑い中、ボランティア作業に協力してくれたと町の関係者(高橋先生)から連絡がありました。自ら進んで行動に移す姿が素晴らしいです。



学校教育目標

「夢」の実現へ向け、主体的に学び続ける竜中生
生徒・地域と共に創っていく学校

今回の学校だよりを編集するにあたり、「竜中マーケット」「少年の主張」「全国学力・学習状況調査の質問紙の回答」等々、子供たちは地域の皆様の愛情に支えられて心身ともに成長していることを改めて実感しました。